

# 多摩東京移管130周年

## 記念ロゴマークが決定しました！

多摩地域30市町村の職員から募集した「多摩東京移管130周年記念ロゴマーク」が決定しました。

### ロゴマーク



(武蔵野市建築指導課 増田 裕介さん 作)

#### 【作者による作品説明】

多摩地区の自然環境と都市の街並みが共存する風景を「自然と都市のグラデーション」ととらえ、曲線と直線が対比しながらも融合するように図案化した。

#### 【作品選定理由】

コンセプトを引き算してうまく抽象化したデザインで「130周年」と「多摩」という伝えたいことをストレートに表現しており、視認性が高く、「多摩東京移管130周年」が伝わりやすい。

### ロゴマークの使用

当調査会では、記念イベント、事業などで本ロゴマークを活用することにより、多摩東京移管130周年の周知を図っていきます。

本ロゴマークは、規程、仕様書に基づき、広く広報物等に使用することができますので、今年度にイベントなどを実施される予定の方は、ホームページをご覧ください、是非、ご活用ください。

なお、使用実績の参考とするため、ご使用の際は、以下の問合せ先の電話、ファックスまたはホームページの問合せフォームのいずれかにて使用場面をご連絡ください。

問合せ (公財) 東京市町村自治調査会 総務課  
TEL 042-382-0068 FAX 042-354-6057

ホームページ [https://www.tama-100.or.jp/contents\\_detail.php?co=kak&frmlid=1227](https://www.tama-100.or.jp/contents_detail.php?co=kak&frmlid=1227)



### フォトコンテストを開催します！



多摩東京移管130周年を記念して、フォトコンテストを開催します！  
伊豆諸島東京移管145年、小笠原諸島復帰55年と併せて、多摩・島しょの絵になる一枚を近日中に募集する予定です。

詳細は、決定し次第、本紙及びホームページでお知らせいたします。

## 多摩市町村のあゆみ

本紙5月号では、多摩地域が神奈川県から東京府に移管された経緯を紹介しました。今回は、移動の手段として欠かせない多摩地域の鉄道網の発達について見ていきましょう！

### ～多摩地域の鉄道史～

#### ① 東西か？南北か？

明治維新後、多摩地域でも鉄道敷設を望む声が大きくなっていきます。多摩が東京へ移管される以前の1886(明治19)年には、東京と八王子を結ぶ甲武鉄道(現・JR中央線)と、八王子と川崎を結ぶ武蔵鉄道が相次いで出願されます。神奈川県知事は、東京府を迂回せずに、生糸を八王子から横浜へ運ぶ利益を主張します。しかし、内務大臣山県有朋が東京を起点とする旨の基本方針を示したこと、青梅・所沢・飯能からの荷は、その当時も東京を経由して出荷されているので東西方向を優先すべしとの考え方により、甲武鉄道に免許が下り、1889(明治22)年に開業しました。



甲武鉄道開業当時の錦絵  
(たましん地域文化財団所蔵)

#### ② 鉄道網の充実

多摩地域の鉄道網の発達を整理すると次の4期に区分できます。

##### 第1期 [1872(明治5)年～1897(明治30)年頃]

第一次私鉄熱に乗じて甲武鉄道が開業し、続く第二次私鉄熱で、青梅鉄道・川越鉄道が開業しました。



第1期：明治28(1895)年

##### 第2期 [1897(明治30)年～1921(大正10)年頃]

東京市内の鉄道が整備されていくのと同時に、郊外に延びる街道沿いに郊外電車が建設される時期にあたります。京王電気軌道、東京砂利鉄道、多摩鉄道、武蔵野鉄道などが開業しました。



第2期：大正9(1920)年

##### 第3期 [1921(大正10)年～1955(昭和30)年頃]

郊外住宅地の開発や、関東大震災・第二次世界大戦後の東京・横浜の復興と再開発のために大量の砂利輸送が必要となり、電化による高速輸送が導入されたのがこの時期になります。都市と郊外の結びつきが強まり、沿線の観光開発も進みます。



第3期：昭和15(1940)年

##### 第4期 [1955(昭和30)年以降～]

車両の大型化と編成の長大化、線路の複線化が進みます。かつては砂利や石灰石の輸送に活躍した青梅線・五日市線・南武線の沿線も住宅化が進み、これらの鉄道も通勤鉄道としての役割が大きくなりました。同時にレジャーブームの高まりの中で、これらの路線では、観光客輸送の重要性も増してきました。



第4期：昭和51(1976)年

凡例 (例1～第4図共通)  
— 非電化鉄道  
— 低速度電線  
— 高速電線  
— 電化はされているが運転開始の長い区間  
※東京市営軌道、モノレール、貨物線、新幹線は省略

東京を中心とした交通網の確立

(青木栄一「多摩の鉄道—そのあゆみと背景—」『多摩のあゆみ』第2号、1976年)

(公益財団法人東京市町村自治調査会「多摩市町村のあゆみ」より)